

広報
11月号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980
発行人 近藤 勝
編集 広報部



ロシア・ウラジオストク中心部と黄金橋

〈 主 な 内 容 〉

時の視点

上物原料の市況について

丸紅ペーパーリサイクル(株) 村田拓也 2~3

古紙市況について 直納部部長 赤染清康 3~4

// 直納部副部長 上田晴健 4

時の話題

東資協との懇談会 5~6

海外視察研修報告

ロシア・ウラジオストク産廃処理施設視察研修

城南支部 望月 孝 7~9

総務部長就任の挨拶 総務部長 上田晴健 9

支部長就任の挨拶 荒川支部長 廣田圭吾 9~10

共同購入についてのお知らせ

共同購入検討委員会 10

第59回清風会ゴルフコンペ開催

清風会幹事 廣田圭吾 10~11

青年部 I T 勉強会 青年部幹事長 工藤嗣人 11

支部便り

山手支部研修旅行 山手支部 徳永裕司 11

文京支部・インドネシア視察報告 11~14

文京支部 清水弘允

国際紙パルプ商事(株) 飯牟礼直也

組合員の広場

「黒部峡谷トロッコ列車と、
立山アルペンルート雲上の別天地」

山手支部 脇 克美 14~15

支部スケジュール

お知らせ 16~17

「11・12月会議・催事予定」「古紙価格」「組織変更」「計報」

事業部・事業紹介 17

会議概要 [9月・10月] 18~24

編集後記 広報部部長 清水弘允 25

組合総合名簿の協賛広告について 25

広告 26~28

時の視点

上物原料の市況について

丸紅ペーパーリサイクル(株) 村田 拓也

□洋紙向け上物原料

【現況市況】

昨年来、価格変動がほとんどなかった洋紙向け原料が、国内洋紙メーカーの生産増により古紙需要増となってきている。

【ここ数年の経緯】

洋紙向けは一品色上が主原料であるが、この品種は他品種以上に製紙メーカーの製品販売動向やパルプ相場に影響を受けやすく、言い換えれば古紙価格が乱高下しやすいという印象がある。過去を振り返ると2007～2008年に掛けて大手洋紙メーカー4社がスクラップ&ビルドで新マシンを新設した当時、店頭30円/kg前後まで上昇した。しかし、2008年秋のリーマンショックを機に価格は急落。その後、国内洋紙需要が減退したことで、国内洋紙メーカーが新マシンを導入した当時の洋紙販売計画は崩れ、一品色上の消費量も落ち込むこととなった。

その後も、円高の影響を受けて、2008年に723千t/年だった印刷用紙輸入量は翌2009年には一気に1,253千t/年まで激増し、2012年には1,737千t/年となった。しかし、2013年に入ると為替が円安傾向となったことから輸入品に急ブレーキがかかり、1～9月累計では899千トンまでに落ち込んでいる。これにより国内メーカー品のシェアが回復、また輸出によるメリットが出やすい為替水準に達したことで、印刷情報用紙輸出货量も1～9月累計では前年比127%となっており、生産増と共に増えている。

【今後の動向】

国内印刷用紙は今春に製品値上げを実施したことで、再びシェアを落とすことも懸念されたが安定した製品の荷動きが現在も続いている（印刷情報用紙輸入量も1～8月累計で前年比72.2%の低水準）。10月下旬から2回目の値上げを打ち出しているが、現行の為替相場で推移すれば今回も国内メーカーの生産計画に大きな変化を及ぼさず、現行の古紙調達政策のまま、当分は一品色上・新聞古紙等の古紙配合率も大きくは変わらないと予想される。

□家庭紙向け上物原料

【現況と今後の動向】

パルプ製トイレトペーパーに比べて値上げが遅れている再生トイレトペーパーに消費者需要がシフトしていることや、ペーパータオル需要が堅調なことから、再生家庭紙メーカーでは、冬場の需要期に向け生産稼働率は好調を維持することが見込まれる。さらに2014年4月からの消費税値上げ前の駆け込み需要が期待できることもあり（1997年4月の消費税3→5%の時、3月の衛生紙出荷量が前年比119.8%だった）、2014年3月までは原料確保に各家庭紙メーカーは苦渋を強いられることが予想される。

【ここ数年の経緯】

家庭紙原料はここ数年で、従来品種（ケント・模造・込頁）を中心とした原料消費のメーカーと機密文書を主体とした安価古紙を使用するメーカーとに二極化されるようになった。

しかし、それぞれに懸案事項がある。従来品種のケントの品質については品質劣化が懸念される。これは古紙問屋の選別力の問題ではなく、印刷会社におけるUVインキの使用頻度がここ数年で格段に増えていることである。（実証数字は出ていないが、現在使われているインキの60%近くが

UV インキになっているとの話も耳にしている。)

UV インキは洋紙メーカーでは極端に嫌われるが、家庭紙メーカーにおいてもチリの原因につながることから、富士地区家庭紙メーカーは“模造”を求める傾向が高くなってきている。一方、安価古紙(機密文書古紙や破碎古紙・シュレッターといったオフィス古紙)の関東都市部における発生の掘り起こしはかなり進んでいるのでメーカーの購入量拡大は難しくなっている。(古紙再生促進センターによる2009年度のオフィス古紙実態調査では、300人以上の大企業における機密文書の回収率は93.9に達し、シュレッターも84.1%)

ただ、2013年は中国向けでグリーンフェンス規制が導入された事もあり、難処理古紙等は輸出しづらい状況となっている。

【輸出動向】

以前は歩留まりの観点より、ノーコート系古紙に絞った購入をしていた海外メーカーのコート系を含めた上物古紙需要も近年高まっている。日本の上物古紙輸出量は2006年に100千t/年の大台を超え134千t/年となり、直近ピークの2011年には155千t/年まで増加した。また、古紙問屋と独自の価格帯で通年安定取引をしている中国メーカーも存在する。しかし2013年は1-8月累計で71千tに留まっており、これは国内メーカーの需要増が背景として考えられる。一方、国内問屋取扱量も年々減少傾向にあることから、今後は上物古紙輸出量が100千t/年超は考えにくいのではないだろうか。

□まとめ

洋紙向けと家庭紙向けとそれぞれの視点より上物原料市況を考察してみたが、2007-08年の頃のような事態には至らなくとも、洋紙メーカーにおける生産量の回復とスクラップ&ビルドによ

る新マシン計画が家庭紙メーカーであることから年明け以降も上物原料のタイト感は継続するものと思われる。

古紙市況について



直納部部長

赤染 清康

皆様、現在の古紙市況には大変ご苦労されている事と思います。

古紙市況の変化を決定する要因にはいくつか考えられます。ご周知のこととは思いますが、国内の古紙の需給は、国内製紙メーカーの古紙消費量と、古紙の回収量によって決まります。古紙消費量は、メーカーの紙や板紙の生産量によって決まります。

紙は、大部分が国内産業の景気の動向に、また板紙は、国内産業・輸出産業の動向により左右されます。そして輸出産業は、為替相場の影響を受けます。

そして昨今では、世界の古紙需給により国内古紙価格が左右されるようになりました。

世界の古紙需給は、大消費地地域であるアジア、とりわけ中国の製紙メーカーの生産量に大きく左右されます。発展途上国においては、紙の生産に古紙回収のインフラが追いつかず、品質の問題もあり、大量の輸入古紙を使用せざるを得ません。またその輸出元である先進国の古紙需給、景気によって古紙の需給は影響されています。

このように、日本の古紙需給は、今や世界の古

紙需給に連動しています。こうした世界の古紙需給から、現在の日本の古紙市況を見てみますと、昨年の二度に渡る古紙の値下げもあり、今年一部の古紙価格を戻しているとはいえ、依然割安感は否めません。

内外格差が広がり、また、日本の古紙の選別面での品質の良さもあり、2013年度中には国内古紙需給のタイト感は解消できないものと予測されます。

アベノミクス効果により、徐々にではありますが、国内景気も上向き、円安により輸出企業も好調になりつつあります。世界においても欧州の経済危機も少しずつ落ち着きを見せ始め、また米国においても債務不履行問題が一時的に回避されました。

古紙の需要は今後、増えることが予想されます。どこかで世界の古紙市況に合わせた戦略の転換を進めなければ、今の古紙の状況を適正に戻すことは困難と思われれます。

あとは、古紙戦略の転換の時期が待たれるだけです。

古紙市況について



直納部副部長

上田 晴健

昨年は古紙価格下落の一年でした。今年に入り古紙全般で十分ではないものの価格復元がなされております。裾物古紙輸出価格は3品とも上昇傾向にありますし、一時の停滞ムードは払拭されつつあります。輸出価格上昇に伴って国内段ボール

古紙価格は1～2円の復元がなされました。一方、新聞、雑誌価格は輸出価格との乖離が3円～4円あるにも拘らず価格復元がなされておりません。洋紙メーカーを中心に業績の低迷により国際相場価格での購入ができておりません。その結果、仕入れの分野において国内のウエートが高いインサイダー業者がアウトサイダー業者との競争に負けてしまいます。大手製紙メーカーの国際競争力の復元が急務といえます。

家庭紙原料につきましては産業古紙と回収系古紙(込頁、MIX)があります。トイレットペーパーは一度使用すると再利用されません。使用が増えたとしてもリサイクルに回らない商品です。この点において特更メーカーと切り付け類の関係とは異なります。特更紙の生産と切り付け類の発生は若干のタイムラグはあるもののキャッチアップしやすいところに特徴がありますが、家庭紙の生産と原料については因果関係がないため運よくバランスしない限りタイトまたは余剰という状態を繰り返します。ご存じの通り産業古紙の発生は年々悪化しております。昨年は海外に輸出されていた回収系古紙が輸出価格の下落により国内マーケットに還流したため家庭紙原料の供給過多により国内価格の下落を招きました。

本年においては輸出価格の堅調さから再び輸出が活発になり回収系古紙の品不足が起こっております。家庭紙原料の価格復元が起こったのもこのためと思われれます。年末に向けて若干の発生増加は望めるものの輸出される回収系古紙を補っていく数量の補填は望めないと考えられます。(希望的観測ではありますが)需給バランスにより家庭紙原料をはじめ古紙全般の価格復元のチャンスが巡ってきたといえると思われれます。

時の話題

東資協との懇談会

平成25年9月27日(金) pm5:30～
 於) 上野・精養軒3153(サイゴースン)
 参加者：東京都資源回収事業協同組合 9名
 東京都製紙原料協同組合 14名

[代表挨拶]

近藤理事長(東京協組)

毎年恒例となりましたこの会合も今年は我々が幹事ということで、新しくできたこちらの精養軒3153の会場をお借りして開催となりました。会食の関係で会議室代はサービスして頂きました。

昨年は年間を通して古紙価格下落の続く厳しい1年でしたが、今年はアベノミクスにより円安、株高となり経済状況も好転しつつあります。又、2020年のオリンピック開催や2027年のリニアモーターカーの開業も決まり、日本全体が明るいムードになってきております。

古紙価格も一部の品種で修正が行われましたが、産業古紙の発生は依然として少ないままで我々組合員もまだまだ厳しい状況から抜けられません。又、GPSを使った抜き取り対策も最近テレビ、新聞で多く報道され少しずつ効果を上げているようですが、なかなか時間の掛かる大変な問題です。本日はお互いの回収業界の現状について様々な情報交換をさせて頂きたく宜しくお願い致します。

吉浦理事長 挨拶(東資協)

組合の会員数が20年前から比べると減少する状況が続いている。利益率から考えるといいはずだが人は増えて来ない。組合で自分たちの職業を必死になって守るシステムを作り上げてきた。それ

が逆に新規参入を難しくしてきたのではないかとされる。我々の柱となる集団回収は、今、一定の利潤で出来ないようになっている。これは価格での戦いであり、東京都内よりも三多摩地区に増えている。行政回収は、民間に移行する話が進んでおり、その区に住んでいる人は守れる形があり、他区から来て集団回収をしていた人達は、そこから排除されるのではないかと情報があがっている。区に住んでいる組合員とそこで仕事をしてきた組合員がいるので難しい問題となっている。東資協としては色々な問題を抱えているので、解決していくため少しでも多くの情報を集めていきたいと思っております。



古紙業界の動向

1. 古紙全般に関する現況

赤染直納部長(東京協組)

古紙全般の市況は裾物3品について8月に段ボール古紙の2円値戻しがあったが、新聞、雑誌は変わらない。古紙の発生が依然として少ない為に洋紙メーカー、板紙メーカー、家庭紙メーカーとも古紙原料が足りない。

輸出価格と国内価格との差が広がった状態が続いている。輸出価格が高いため、古紙は輸出に流れてしまっている。現在、各メーカーへの古紙の納入は完納出来ない所が多い。スポット価格

を出せないメーカーは秋需に対して十分な古紙原料の確保が難しくなるのではないと思われる。今後、中国はマシンの新設計画等もあり古紙需要は衰えないと予測される。発生は年々減少しており、東京協組の44社上物古紙の在庫報告では、ここ1年で最低の在庫量となっている。

2. 産業古紙の現況

上田直納副部長（東京協組）

産業古紙は出版関係の発生が落ちている。マンガさい落は安定している。古紙の販売は好調である。家庭紙古紙の発生は年々、減少しており原料が集めにくい状況にある。各問屋の在庫が少なく、秋需によるメーカーからの注文に十分に答えられない。

3. 古紙回収にかかわる現況

長井集荷部長（東京協組）

古紙の回収量は昨年と比べ20%以上減少している。印刷、製本会社では廃業、倒産が続いている。当組合でも毎年廃業による組合員の脱退が10社以上、数年にわたり続いている。集荷業者は現状を維持するのが、やっとの状態である。

資源回収業界の動向

国内の回収は集団回収が増えてきている。行政回収から集団回収へシフトしていく話が出ている。4年前23区内で業者支援を行っている行政は15区あったが、現在は9区に減っている。多摩地区は18あったが17に減っている。大きな問題として依然として持ち去りがなくならない。組合員の方へ持ち去りに関与しないよう呼びかけている。組合の総会の中で規約としての罰

則を決め氏名の公表等の罰則をもうけた。

集団回収に関する町会別古紙回収量の品目別データを作成した。

質疑応答

TS-東資協 **TK-東京協組**

TS-Q：残本のデータはあるのか？

TK-A：売上ベースであるが出版社による発行部数が公表されていない所がある。出版統計という雑誌に出ている。

年に平均して2%減少している。返品される総数は全盛期3万トンあったが今は2万トンに減少している。

売上ベースで25%くらい落ちている。雑誌がほとんど減っている。

雑紙問題の補足：

雑誌はミックスで輸出されている。日本の古紙は良く選別されており品質が良い。近年、中国メーカーでは少しずつミックスの品質について要望が出始めている。古紙センターで研究している事として、将来、雑誌の他に雑紙の品種を検討している。古紙業界にとっては懸念される材料である。

TK-Q：抜き取り問題は、価格面での格差がある以上、なくなるのではないのか？

TS-A：内外格差がなくなっても、なくなる。永い間、見ていて実感として分かる。

持ち去りを始めた人は、量は少なくなるが、持ち去り行為を止めない。エアコンの室外機や真鍮等は人が見ていない所で盗られている。それと考へ方は同じである。捕まらなければ、かまわない人達が増えている。一番は買わない事が大事である。条例がない地域は罰則がないので、なかなかなくなる。

海外視察研修報告

ロシア・ウラジオストク

産廃処理施設視察研修

城南支部 望月 孝

2013年9月20（金）～9月23日（月）まで、東京都製紙原料協同組合直納部主催海外視察研修に参加しました。

今回の研修先の国ウラジオストクを簡単に説明しますと、日本海沿岸に位置する沿海地方プリモールスキーライの州都であり、航空路、定期便航路で日本と結ばれたシベリアの玄関口で、はるかモスクワまで続くシベリア鉄道の起点の町としても有名です。人口約62万3000人でウラジオストクという名も「東方を征服せよ」というロシア語が由来だそうです。

私は初めてのヨーロッパなのでお腹を壊さないだろうか・・・今回の旅行の説明会（団結式）で「レポートは一番若い君に任せた」と言われ不安でしたがいざ出発

1日目：20日の夜19：00時に成田空港に集合して21：05空路アエロフロート・ロシア航空にてウラジオストクに向かいました。

現地の空港へ着いたのが日付が変わった25：25でした。単純に出発から到着まで引き算をすると4時間20分の飛行時間ですが、現地の時差が日本より2時間進んでいるのでおよそ2時間の飛行でした。空港からホテルまで専用のバスに乗り込み約40分でホテルに到着後、チェックインし初日は終了しました。

2日目朝食後バスで最初に鷲巢展望台に行き、そこで現地の名所の一つ黄金橋を見ました。ウラジオストク中心部の金角湾を跨ぐ壮麗な橋。二つの主塔とケーブル線で支えられた斜張橋で、湾を跨ぐ部分は長さが737mあり斜張橋では世界

でも十指に入るそうです。

建設が始まったのは2008年7月25日、2012年にウラジオストクで開催されたAPEC首脳会議での便宜ために計画され、会議前の2012年8月11日に公式オープンした。それから1カ月後に一般公募で決めたかは定かではないが正式に黄金橋と命名されたそうです。



この日は土曜日でしたので仕事が休みで他の観光客も多く、また結婚式ラッシュで沢山の新郎新婦を囲んだ派手派手衣装のとてもスタイルの良い女性たちを見て暫く見とれていました。本当にとてもスタイルが良いのです！分かりやすく表現するとボン！・キュッ！・ボン！さすがヨーロッパ！話がそれましたがその後中央広場要塞博物館などを見学し夕食にはウオッカを沢山飲み記憶が・・・。

3日も朝食後、郷土博物館、ロシア正教会、与謝野晶子記念碑、APEC会場となったルースキー島、C-56潜水艦博物館、シベリア鉄道駅、1日結構歩きました。

中でもシベリア鉄道のスケールにはビックリしました。細かく書くと長くなるので簡単に説明すると、電車が長い事。端から端が見えないくらいで15両らしいのですが1車両が長くデカイ。全部個室の寝台車だからみたいです。

ウラジオストクから終点モスクワまでの距離は、9,259km7日間かけて向かうそうです。その後また夕食に昨日より高級なウオッカを飲み記憶が・・・。

4日目バスでホテルから1時間くらい走り悪路の山道を登り産廃処理施設を見学しました。私たちが見学した工場は埋め立て施設兼選別工場でした。他に焼却施設もあるそうで1日200tのゴミを焼却しているそうです。



ロシアでは分別回収をしていないので、生ゴミ以外（生ごみは埋め立て）一色単に集めて紙・プラ・ペットボトル・缶等に分けて3機の韓国製のペーラーでブロックにし（12時間で360t）焼却や売り渡しをしている。気になる古紙の選別ですが、全てミックス状になっていてかなり汚い状態でした。ロシアには製紙工場が無く、また販売先を探しているようで見学時の質疑応答では、殆んど古紙をどうしたら売れるかの質問でした。



その少ない時間で聞いた情報ですがロシアの平均月収は約7万円この産廃施設で働いている準公務員の平均月収は4～5万円4組3交代制で全従業員は120名敷地面積は56畝東京ドーム約11個分

参考種類別価格（価格単位ルーブル／月間t数）

100ルーブル＝日本円3,000円

PET ボトル 40/50

HDPE 40/45

LDPE 25/30

鉄くず 140/160

今回の旅行はロシアの歴史を知れた事。ウォッカは小麦から作られアルコール度40度の物をウォッカという事。日本の行政古紙回収・古紙選別・産廃処理の優秀さを知り大変勉強になりました。

近藤理事長からウラジオストク産廃処理施設へ「日本の古紙事情」を説明

日本に於ける紙のリサイクルは800年程前、和紙の再生から始まりました。100年程前は、紙の原料のほとんどが和紙や藁でしたが、欧米式の製紙機械が導入されてから木材パルプや古紙に原料が変わり始めました。戦後の経済成長の中で印刷物や段ボール箱の生産が急拡大するようになり、本格的に古紙回収が行われるようになりました。

第二次世界大戦後の1955年、古紙回収量は約52万トン、回収率・利用率は20%程度でした。1960年代からの高度経済成長や人口の増加によって生活用品が大量に消費されるようになり、紙の消費も増加し、古紙の回収・利用が進みました。1985年には古紙回収量は1,000万トンに超え、回収率・利用率が約50%となりました。1990年代、環境問題やゴミの処分場不足の問題から、2001年に資源有効利用促進法が施行され、地方自治体による古紙回収がはじまりました。2002年には古紙回収量は2,000万トンを超え、回収率は65%、利用率は60%となり、現在2012年では古紙回収量は2,170万トン、回収率は80%、利用率は64%となりました。

2000年を境に、古紙回収量が古紙消費量を上回り始め、古紙が余剰となった為、本格的に輸出されるようになりました。古紙の輸出は年々増加し、2000年では37万トンの輸出が、2001年に150万トンへ、2005年370万トンとなり、昨年2012年では490万トンとなっています。その約80%が中国向けでその他東南アジア向けとなっています。

現在、日本に於ける古紙は26種類に分類され禁忌品等も細かく決められており、価格も輸出が定着した現在ではほぼ国際価格に近い価格となっています。又、更に回収率を上げる為に雑多な紙や小規模事業所からの古紙回収を強化しています。



総務部長就任の挨拶

総務部長 上田 晴健

今回の総会で総務部部長を拝命いたしました上田でございます。今までは高山総務部長のもと、補助的な役割でしたが今回の部長就任で責任の重さを痛感しております。また直納部副部長も兼任させていただきます。若輩者でございますが、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。総務部の主な仕事として

- ① 定例会や総会の司会進行
 - ② 経営革新委員会への参加
 - ③ テナント管理
- がございます。

② の経営革新委員会において現在古紙抜き取り問題及びジャパンプランドの確立がメインテーマとなっております。古紙商品化適格事業所の取得、古紙リサイクルアドバイザー及び品質管理責任者の認定をサポートしてまいります。古紙抜き取り問題については「抜き取り古紙を買わない、売らない」をモットーに徹底できるよう活動してまいります。

③ のテナント管理において各不動産屋にあっておりますが、1フロアテナントが入っておりません。組合運営において収入不足という多大な支障をきたしておりますので新たな対策を立てたく思っております。組合員各位におかれましてもお心当たりがございましたらご連絡ください。また、今期より組合員へのサービス拡充を掲げて、物品の共同購入の検討をしております。共同購入によって組合員にメリットがでるよう各物品の種類及び購入モデルを検討しております。組合の活性化にもつながる事業でございますので積極的に参加を考えております。

総務部は近藤理事長を中心に各業務委員会との連携を取りながら活動をしていこうと思っております。
*顔写真は直納部「古紙の市況」欄にてご紹介しましたので、こちらでは割愛させていただきます。

支部長就任の挨拶



荒川支部長
廣田 圭吾

この度、荒川支部長に就任しました(株)廣田、廣田圭吾です。以前より、理事として支部活動に携わってききましたが、支部長となり、責任の重さに

身の引き締まる思いです。

荒川支部は、営業所を多数構える大問屋さんから、個人商店まで幅広い業態の支部員で構成されています。また「十日会」という無尽会も支部と同じように歴史を重ねており、毎月の会合や忘年会を共同で行っています。「十日会」には業界を引退なさった大先輩達も出席しておりまして、日々の支部活動に忌憚のない御意見を頂きつつ、暖かく見守ってくださっています。

東京協組での組合活動では、青年部と支部で微力ながら頑張っておりましたが「得たもの学んだもの」は、たいへん貴重なもので、知りえた業界知識や諸先輩からの教えは会社経営に役立つとともに、同年代の仲間との勉強会などは、向上心への良い刺激となっています。

これからは、荒川支部長として支部員の皆様に東京協組の良さをより伝えていけるよう頑張りたいと思います。

共同購入についてのお知らせ

プレス機のオイル交換について

共同購入検討委員会

今年7月より共同購入検討委員会で検討してきました第1号品目がプレス機のオイル交換に決まりました。組合を通じて通常より格安での交換が可能となります。

すでに試験的に実施した事業所や見積もりを取って比較した結果を見ると、1,000リッターのオイル交換で約5万円近い差が出ております。

どうぞこの機会に是非、ご利用くださいますようお願い致します。

手続きは簡単です。組合にご連絡いただき「プレス機オイル交換申込書」を受取り、必要事項を記入し組合宛てにお送り下さい。交換時のレート(2ヶ月に1度変更されます)は、申込書の送付時に

ご連絡いたします。又、給油条件により追加金が発生する場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

第59回清風会ゴルフコンペ開催

清風会幹事 廣田 圭吾

10月17日(木)、激しい台風も前日に過ぎて、無事清風会コンペが開催されました。今回のコースは、千葉バーディクラブ。



相変わらず持ちハンデに恵まれながら、優勝を果たせずに3位あたりの入賞でチビチビとハンデが削られてしまっている自分。「今日こそは…」といつもの意気込みで出発。が、バーディクラブがナビで出てこない…このコース、出来てまだ5年足らず…古いナビでは森…嫌な予感。

今日のパートナーは、赤染副理事長、坂田事業部長、高橋君。気の知れた顔ぶれに笑いの絶えない楽しいゴルフになりそう。が、このコース。風光明媚の雰囲気とは裏腹にアンジュレーションがきっちりあってフェアウェイでも油断禁物。池は「打ったところ」にある(気がする)。ショットは悪くないのにスコアは悪い。

ランチ時にボールを買う。3コで足りなそうなので6コ買う。途中でボール買う奴が優勝できるわけなく…。

優勝は苦節15年、ついに初優勝の赤染副理事長。ゴルフへの集中力は見習うものがありました。お

めでとうございます。

さて、来春の清風会ゴルフは記念の60回。宿泊を含めてのコンペを企画するつもりです。奮って御参加頂けますようお願い致します。

青年部 I T 勉強会

青年部幹事長 工藤 嗣人

9月10日(火)、青年部が所属している印刷青年連絡協議会(印青連)で、常任役員を務めている今井印刷・今井専務を講師に迎え、IT勉強会を開催しました。グーグルの便利な機能をはじめ、フェイスブックやツイッターの違い、利用価値やメリットなど、大変勉強になるお話をいただきました。情報交換やコミュニケーションの一環として、今後、青年部としても活用していきたいと思えます。

支 部 便 り

山手支部研修旅行

山手支部 徳永 裕司

残暑の中、9月7日～8日に熱海温泉地にて山手支部研修旅行会を行いました。当日は支部員7名の参加で多少寂しかったですが、東京駅より熱海に向かいました。車中では山手支部の在り方、集荷の状況(お得意さん)の事など話題豊富で、あっという間に目的地に到着しました。到着後、大月ホテル和風館に行き、温泉に浸かりました。夜の宴席では長井支部長の乾杯の後、綺麗どころが加わり宴たけなわで終了しました。

本年も大変厳しい夏でしたが、多少はリフレッシュが出来たと思います。来年もまたこの様な山

手支部研修旅行が開催されることを願っております。山手支部の皆さま、今後ともご協力よろしくお願い致します。

文京支部・インドネシア視察報告

文京支部 清水 弘允

国際紙パルプ商事(株) 飯牟礼直也

2013年10月22日～26日

(訪問先) PT. PAPERTECH INDONESIA (パパーテック・インドネシア社) CONITEX SONOCO PT (コンテックス・ソコ社)

PT. PABRIK KERTAS NOREE INDONESIA (パブリック・ルエ・インドネシア社)

(参加者)

三弘紙業株式会社 森山享

株式会社ヨシカワ 川又伸一

グリーンロジテック株式会社 清水弘允

新井紙材株式会社 新井重樹(城南支部)

国際紙パルプ商事株式会社 飯牟礼直也

国際紙パルプ商事株式会社 今本優希(現地同行)

初めての試みとして、文京支部単独でインドネシア・ジャカルタ周辺の製紙工場及び古紙市況を視察して来ましたので報告いたします。

(インドネシア及びジャカルタ概要)

同国は東南アジア南部に位置しており、人口2.3億人、国有面積は192万km²、世界でも最多である約1.8万もの島を抱えている。GDPは約5,118億ドル、日本の10%程度の経済規模である。首都ジャカルタはジャワ島に位置しており、人口は850万人、面積は740km²、人口密度は約14,000人。都市圏人口としては2,400万人、世界4位の大都市でありASEANの事務局も抱える。尚、通貨はインドネシアルピア(RP)で1RP=0.01円。

(インドネシアの製紙概要)

製紙メーカーの数は多く、ジャワ島に約70社、スマトラ島に約15社のメーカーがある。同国は梱包材の需要が多いため板紙メーカーの数が多い。洋紙はアジア最大の製紙会社であるAPPのシェアが高い。新聞用紙メーカー、家庭紙メーカー、段原紙メーカーはあるがAPP以外の総合製紙会社は存在しない。またパルプメーカーも多い。同国はイスラム教徒が80%であるためトイレ時にトイレトペーパーを使用しない。ただ一度トイレトペーパーを使用すれば習慣化するので潜在需要は大きいとの見方がある。

紙・板紙生産量： 約 11,500 千トン/年
 パルプ生産量： 約 6,300 千トン/年
 紙・板紙輸出量： 約 4,245 千トン/年
 紙・板紙輸入量： 約 498 千トン/年
 国内需要： 約 7,800 千トン/年

(インドネシアの古紙事情)

同国における廃棄物の発生量は一人当たり2～3リットル/日で、大都市ほど廃棄物の発生量が多い傾向にある。その中で古紙は廃棄物とともに回収される。古紙問屋は自社で回収することはせず、全量回収業者から購入している。回収業者の規模によっては、問屋に直接販売せず、別の（規模が大きい）回収業者に持ち込まれる。また近年では国内古紙の回収量が増えないため、古紙がバラの状態製紙工場に持ち込まれることもある。（価格はベール品と同価格）

また同国の古紙発生量は年間約4,200千トン。古紙を使用するメーカーの古紙消費量は合計で約6,600千トン以上であることから古紙の輸入依存度は高い。廃棄物管理が確立されていない行政の未熟さ、インフラの未整備、廃棄物の最終処理方法が不透明であることから国内の古紙回収量は今後増加する見込みである。

PT PAPERTECH INDONESIA (パペック・インドネシア社)

生産品目及び生産量：紙管原紙（年産約100千トン、マシン2機）

古紙使用量：ローカル OCC 8千トン/月、ニュージーランド OCC 2千トン/月

- ① 米国 Texpack 社のグループ会社である。Texpack 社は後述する conitex sonoco 社、Paper Tech 社、Lamitech 社 / 米国（ラミネート紙を生産）、Compositub 社 / スペイン（コンポジット缶）の子会社を設けている。
- ② 同社が生産する紙管原紙は Texpack グループの conitex sonoc 社に販売され、ボビン（糸巻き用のコーン状の筒）が生産される。昨年までマシン1機で操業していたが、昨年9月に2号機を新設、また1号機も改造し生産能力が向上した。
- ③ ローカル OCC の購入価格は平均 RP1,950/kg（工場着値）。同国の古紙価格は常時変動しており日本のように建値は存在しない。市況変動時における古紙価格上昇リスクを回避するため、古紙問屋とは価格及び数量のスポット契約を結ぶことがあるという。（今月初めに同国大手段原紙メーカー Fajar（ファジャール）社の古紙ヤードで火災が発生、古紙確保のため Fajar 社向け OCC の需要が増え、火災後にはローカル OCC の価格が RP2,200/kg まで上がっているようだ）
- ④ 繊維が長く安価で購入できるため、ニュージーランドから OCC を輸入している。米国 OCC は対中価格が指標となってしまうため敬遠しているとのこと。日本 OCC は品質が良いが繊維が短く、また米国 OCC 同様に対中価格が指標であるため購入実績はない。

CONITEX SONOCO PT (コンテックス・ソノコ社)

生産品目及び生産量：ボビン（糸巻き用のコーン状の紙筒）、年産約 24,000 トン

- ① 前述した Papertech 社の兄弟会社であり、Texpack 社と米国 SONOCO 社の合弁会社である。ボビンを生産する SONOCO 社が、紡績産業の盛んなインドネシアに進出するため立ち上げた工場である。
- ② 同社が生産するボビンのシェアは 30% と高く、自国向けの販売だけではなく、アジア他国向けの輸出も行っている。上記の年産約 24,000 トンはボビンの数で言うと 10 億個ほど。
- ③ Texpack 社で生産された紙管原紙はここに卸されるが、原紙が 100% 使用されることはなく、ボビン生産時に発生する切れ端、ヤレは Texpack 社に古紙として出荷される。また、ボビンの表面を研磨する際に出る紙粉は近郊の板紙メーカーに古紙として販売されている。（具体的な価格は不明）

PT. PABRIK KERTAS NOREE INDONESIA (パブリック・ケルタ・ルエ・インドネシア社)

生産品目及び生産量：チップボード（年産約 60 千トン、マシン 2 機）

使用古紙：ローカル OCC、ローカル MIX、ローカル SWL（模造）、ドイツ MIX、シンガポール MIX

- ① 同社は王子インターパック㈱と業務提携しており、王子インターパック社が生産する 3 層段ボールをベトナムから輸入し同社工場内で製函、ピアノ等の精密品の段ボールケースも生産している。また、紙製パレットも生産している。（段ボールケース、パレットともに全てが手作業で行われている）
- ② 同社が生産するチップボードは 80% が国内向け、20% が輸出として販売されている。インドネシアではチップボードを生産するメーカーが多い。主原料となる MIX 古紙が安価で購入できること、安定した販売量を見込めること

が要因とされる。また、同社のような小規模メーカーから APP のような大手メーカーと、規模の違いはあるもののシェア争いをしている様子はない。

- ③ 日本からは以前 MIX 古紙を購入したことがあるという。品質が高いために購入したものが、対中価格が指標となってからは購入していないとのこと。ドイツ MIX、シンガポール MIX を US\$140 ~ 145 で購入しているが、古紙ヤードで現物を見たところ品質は高く夾雑物の混入は極めて少なかった。これらの古紙の歩留まりは約 80% とのこと。欧州の一部の国では家庭から排出される MIX を未選別でベールする「MIX Residential」所謂家庭 MIX というものが存在するという。選別 MIX との価格差は US\$20 ~ 25/MT。
- ④ ローカル MIX の品質は日本でいうところの雑がみであった。上記で述べたようにチップボードの主原料は MIX だが、チップボードには高品質が要求されないため、雑がみ品質の古紙でも問題なく使用している。シンガポール MIX にはシュレッダーものが多く混入されているが、安価で購入でき且つ夾雑物が極めて少ないため継続的に購入している。また電話帳もスポットで購入しており、日本の電話帳も以前購入していたことがあった為、引き合いがあった。



(総括)

若干でも日本の古紙を輸入した事があるので、日本の古紙には興味を示していた。しかし現状で日本の古紙を使っている所はなかった。その理由として中国と競合する米国、日本からの仕入よりインドネシアの地理上のメリットを活かせるシンガポールとかニュージーランド更にはドイツ、ノルウェーからの輸入を優先しているとの事である。フレート運賃の問題もあるし近場だと小回りの利く貨物船の利用が可能な事もその背景にあるようだ。日本の古紙は繊維が短いと言う認識がかなり通っているが、同時に選別の良さは理解している様なので、価格対応と話題に出た電話帳など思わぬ古紙が使われる可能性はあると思う。輸出先を増やす意味で今後も地道な接触と情報取りが欠かせないと言うのが印象であった。

(雑感)

ジャカルタの交通渋滞は半端でなかった。特に午後は慢性的に渋滞しており、地下鉄、モノレールなどの建設が始まっているそうだが、インフラ整備をしないと正確な時間で待ち合わせなど出来ないだろう。走っている車は90%日本車でバイクは100%日本製の印象だ。人口が日本の2倍で資源も豊富だし、対日感情も良いし、まだまだ伸びる国と言うのが印象であった。

組合員の広場

「黒部峡谷トロッコ列車と、立山アルペンルート雲上の別天地」

山手支部 脇 克美

去る10月4、5日に富山県に1泊旅行に行ってきました。行きは8時前の新幹線で「越後湯沢」着、ホクホク線「はくたか6号」で11時10分

には「富山駅」に到着。ここがツアーの集合場所になるのですが、まだ1時間半の余裕があったので「富山ブラックラーメン」を昼食に頂きました。色は真黒ですが、あっさりと頂けるとのことでしたが、私にはしょっぱかった。来年には北陸新幹線が開通するとのことで、富山駅は驚く程の大増築をしていました。

昼に集合すると大型バスが待っていて、メンバーはガイドを含め総勢11名と、思っていたより少人数でゆったりと「宇奈月温泉」まで行きました。そこで、いよいよ黒部の日本一深いV字峡谷を縫うように走る小さなトロッコ列車。「宇奈月」から終点の「樺平」までくぐるトンネル41箇所、橋を渡ること22回。手つかずの迫力の大大パノラマを眺め、スリルも満点でした。1時間程乗車の後、途中駅の鐘釣駅周辺を散策しましたが、この辺りはまだ標高が400m程なので紅葉にはまだ早かったのが残念。実はこのトロッコ列車は一般の観光客には公開していませんが、終点の駅の先はトンネルとなり、黒4ダム付近まで通じており、ダム建設の折には人、機材、資材の運搬に利用されたそうです。帰路は峡谷の夕景を楽しみながら宿に落ち着きました。今回は妻と娘の3人旅でしたが、用意された部屋は2間続きの広い部屋でトイレが2つあったのには驚きました。

翌日はバスで「立山駅」まで行き、ケーブルカーで「美女平」まで登ります。このケーブルは日本一の高低差(500m)があり、一気(7分)に標高1000mまで連れていってくれます。そこからは、高原バスに乗り換え(50分)立山連峰の御膝元「室堂平」を目指します。途中、日本一の落差(350m)がある「称名滝」を車窓からながめ、標高1,930mの「弥陀ヶ原」のあたりから標高2,300mの「天狗平」までは素晴らしい紅葉を見ることができました。このあたりは、昔、アルプスが噴火した時に出来た溶岩台

地で、永い時をかけて日本を代表する高山植物の宝庫となり、この湿原には遊歩道が整備されています。紅葉の背後には立山連峰がそびえたち、神々しいくらいの景色に見えました。やがて標高2,450mの「室堂平」に到着。ボランティアガイドの案内で日本一高い場所にある「みくりが池」一めぐりの散策をしました。途中、立山連峰をながめながら昼食の弁当「ます寿し」を食べ、立山連峰の雄姿を満喫しました。



「みくりが池」

昨日もこの日も天候に恵まれ、年に数日しか見ることが出来ない「剣岳」もくっきりと拝めました。ちなみに、立山連峰には「立山」という名の山はなく、「雄山」、「真砂岳」、「剣岳」等の山々の総称ということです。また富山の男は一度、標高3,003mの「雄山」に登らなくてはいかんと言われており、私も小学生の時、2度登りました。実は、昨日を含めここまでのコースを私は何度も来たことがあったのです。が、この先の立山トンネルがまだ開通していなかったため、「黒4ダム」までは富山側からは行くことが当時は出来なかったのです。その後、ダムへは親、兄弟は皆それぞれ行っているため、私もどうしても見てみたいと思っていました。その代わりではありませんが、その当時には無かった「モノ」が立山トンネルの貫通を機に発見されました。名水100選にも選ばれている「立山玉殿の湧水」です。水温2～5度。これは本当にうまかった。ペットボト

ルに詰め東京に持ち帰りました。さて、立山直下を掘りぬいたトンネルを走るトロリーバスに乗り（10分）出てきたのが「大観峰」、振り返れば、後ろ立山連峰が間近に見えました。そこからロープウェーに乗り換え、「黒部平」へ、このロープウェーは全長1,7kmもあるのに、支柱がありません。このあたりも紅葉が見事で、眼前には「五郎岳」、「鹿島槍」、「赤沢岳」等の長野県側の北アルプスが眺められるようになりました。そこから真っ暗な中5分程ケーブルカーに乗り、地下道をくぐって大きな鉄門の横を過ぎると、黒4ダムのえん堤でした。長さは800mあり、徒歩で歩いて渡りますが、高さが186mもあり、下をのぞくには手すりにしっかりと掴まり、恐る恐るの覗き込みでした。毎秒10t以上の観光放水がドウドウと音を立て、水しぶきが川床からの風で吹きあがり、えん堤に細かなシャワーとなりふりまかれます。やっと念願がかない、北アルプス連峰に囲まれた雄大な建造物を間近に眺めることが出来、大変感動の旅の締めくくりとなりました。



黒4ダム

そのあとは、大町経由で、松本駅から「特急あずさ」で帰ってきました。帰宅後、立山の名水で割ったウィスキーはうまかったですよ。先ほども書きましたが「北陸新幹線」が開通すれば、金沢まで2時間半、富山まで2時間です。私の心のふるさと、富山にどうぞいらして下さい。

♪ことわざミニ知識♪

「魚心あれば水心」

魚に水と親しむ心があれば、水もそれに応じる心を持つという意味で、相手が自分に対して好意を持てば、自分も相手に好意を持つ用意があるということ。

此方が好意を持っている相手は、先方も同様である事が多いのが、体験からも一般ではないか。逆に言うと、此方が好意を持ってない相手は、先方も好意を持っていないのも一般である。

支部スケジュール

千代田支部

支部会 12月 6日(金) 菜の家
忘年会 12月 場所と日にちは未定
支部会 1月 //

中央支部

支部会 12月13日(金) 大門酒家

文京支部

忘年会 12月場所と日にちは未定
支部会 2月10日(月) 東明版店

台東支部

忘年会 11月下旬 場所と日にちは未定

荒川支部

支部会は未定

足立支部

支部会 12月20日(金) 場所は未定

山手支部

支部会 11月19日(火) 鮭やなぎ
忘年会 12月21日(土) 鮭やなぎ

城南支部

忘年会 12月 7日(土) 六本木ヒルズ
旅行会 2月 1日(土)～2日(日)
*場所未定

江墨支部

支部会 11月20日(水) うさ美

城北支部

支部会 11月・1月は休会
忘年会 12月 場所と日にちは未定

◎第11回組合合同新年会

平成26年1月18日(土)
午後6時～
場所：上野・精養軒

◎直納部委員会及び忘年会

平成25年12月19日(木)
場所：東天紅・上野店 B1階「海燕亭」
午後5時～直納部委員会
午後5時30分～忘年会

◎組合事務局・年末年始休暇

平成25年12月28日(土)～平成26年1月5日(日)

お 知 ら せ

〔11月会議・催事予定〕

11月15日(金) 静岡県紙業協会家庭紙部会
事前会議 (pm 1:15～) 懇談会 (pm 2:00～)
富士商工会議所 4階

- 11月19日(火) 支部会訪問山手支部「やなぎ」
(pm6:30～) 山口江墨支部長
近藤理事長、夏目専務理事
- 11月22日(金) 関東地区委員会 (pm2:00～)
古紙センター会議室
- 11月27日(水) 古紙センター業務委員会
(pm2:15) 古紙センター会議室
〃 全原連役員会 (pm3:30～)
古紙センター会議室
- 11月28日(木) 第4回共同購入検討委員会
(pm4:30～) 組合会議室
- 11月30日(土) 組合コンペ
(関東商組との親睦ゴルフ)
笠間カントリークラブ

[12月会議・催事予定]

- 12月4日(水) 共販輸出検討委員会 (pm2:00～)
常任理事会 (pm2:30～)
理事会 (pm4:00～) 上野・精養軒
〃 清風会研修会 (5:00～)
清風会忘年会 (pm6:00～)
上野・精養軒
- 12月19日(木) 直納部委員会及び忘年会
委員会 (pm5:00～)
忘年会 (pm5:30～)
上野・東天紅「海燕亭」
- 12月20日(金) 支部会訪問足立支部
(pm6:30～) 坂田支部長、近藤(昌)副理事長、
夏目専務理事
- 12月28日(土)～1月5日(日)
組合事務局・年末年始休暇

[古紙価格]

[東資協の古紙4品の標準売値]

平成25年10月9日現在

新聞 8円～10円(横ばい)

雑誌 6円～8円(横ばい)

段ボール 8円～9円(横ばい)

色上(並) 6円～8円(横ばい)

[組織変更]

代表者変更

- ・台東支部：(株)山博 新代表者 山室新太郎
- ・城北支部：(株)辻商店 新代表者 辻 忠敏

[訃報]

- ・城南支部：(株)梶谷商事(代表者 梶野隆史 様)
のご尊父 梶野泰一様が平成25年9月3日に
ご逝去されました。近親者のみで密葬の儀を済
ませ告別式を社葬で行いました。
平成25年10月6日(日)午後2時半～午後
4時於)京王プラザホテル南館5階「エミネン
スホール」
- ・組合顧問：松原仁様のご尊父 松原誠様(享年
87)が9月30日にご逝去されました。

事業部・事業紹介

(都市近代化推進事業協同組合)

*ガソリンカード

当組合で一番人気の事業のひとつです。
全国平均と比べハイオク・レギュラーガソリンが
約3円、軽油が9円ほど安く購入できます。

*ETCカード

指定の高速道路が割引運行出来ます。又、ポイン
ト可の高速道路でポイントが溜まると、そのポイ
ント分が無料走行で使えます。

*自動車共済保険

現在、割引を受けている保険料から、さらに約
20%ほどの割引いた保険料となります。

*カーリース事業

提携リース会社を利用する事により有利なリース
が可能となります。

組合員であれば、どなたでもご利用できます。

お申込、お問い合わせは組合事務局まで。

会議概要 [9月・10月]

9月度定例理事会

[平成25年9月4日(水)] pm 5:00～

出席理事30名・監事0名 於) 組合会議室

近藤理事長挨拶

8月の理事会は休会でしたが、その間、家庭紙原料、段ボール古紙の価格修正がありました。後ほど直納部から詳しい説明があると思いますが、洋紙メーカーへの影響はまだごく一部に留まっているようです。

又、最近テレビでは頻繁に抜き取り問題が報道され、GPSを使った各自治体の調査が始まっています。現在、関東商組を中心として全原連、東リ協で問題解決に取り組んでおりますが、業界の信用を落とす行為ですから兎に角、早い解決を期待するところでございます。

今月は明日の直納部コンペ、20日からの直納部海外視察研修、27日の東資協との懇談会と続きます。又、今年度の事業計画であります共同購入の検討委員会も継続的に開催されております。引き続きご協力を宜しくお願い致します。それともう一つ、我々もバッチを付けて応援してきました2020年のオリンピック開催都市が今週末に発表されます。何とか東京に決定し、大きな経済効果を期待したいと思います。

[各部報告]

[総務部]

組合会館2階のテナント募集は、過去に賃貸契約していた会社から再度、利用したい意向があった。打合せと内覧に来たが、部屋の面積が狭く断念となった。

[直納部]

9月度の共販輸出は2社が入札に参加した。入札

の結果は、国内価格と比べ若干の高値で(株)松本光春商店が落札した。仕向地は中国で、業者の報告では「雑誌価格は弱含みだが底打ち状態から上昇基調に転じつつある」との事。また他社のコメントでは「中国の紙板紙製品の需要は依然、低迷している。輸出国における古紙の供給力が低下し、対中国価格は上昇しているが、9月には古紙の発生増が見込まれる為、供給力が緩和されると思われる。供給減による価格上昇は落ちついた為、大幅な価格上昇にはならないと思われる」との事。中国の輸出について商社筋の話では、国慶節後は弱含みになるかもしれないとの事。国内では8月に入り、板紙メーカーが段ボール古紙2円の値上げ、家庭紙メーカーが古紙原料の2円上げとなった。まだ古紙全般では原料が不足タイトな状態で、一部ではプレミアム価格が出てきている。品目別市況は、時間の関係で割愛させていただきます。

[集荷部]

発生は、ここ2～3ヶ月悪く8月も引続き悪い状態が続いている。そんな中で家庭紙原料の価格修正は有り難かった。

[広報部]

広報誌は現在、9月号の制作をしている。中心となる「時の視点」では、国際紙パルプ商事(株)の生田本部長による清風会研修会の講演内容を掲載する。「時の話題」では6月に行われた静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会と7月に行われた製本工組との古紙関係協議会の模様を掲載。他は総会号で、掲載出来なかった新業務部長、新理事の挨拶。組合ゴルフコンペや各支部の納涼会を掲載予定。

組合総合名簿の進捗状況について：協賛広告に関しては、掲載を継続する会社、52社から受諾を受けている。新規広告掲載についても関係業者やメーカー等で約20社追加出来る予定。その他、

組合員の住所変更や営業所一覧の継続等、順調に作業が進んでいる。スケジュールは9月に印刷原稿の作成、10月に原稿の校正、その後に印刷、製本の予定。

[事業部]

ここのところガソリン価格が上がっている。組合が行っているガソリンカード事業に、未加入の組合員が多いので加入を勧めていきたい。共同購入ではプレス機のオイル交換について検討しており、業者より価格の提示が出てきている。

[青年部]

9月10日に幹事会を開催し、その後、部会でIT勉強会を開催予定。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会：9月17日に東京で委員会を開催予定。

IT推進委員会：10月3日に札幌で委員会を開催予定。

[その他]

協議事項

①脱退について：台東支部 三晃紙業（株）代表者 清水博義 平成25年6月30日付で脱退・・・原案どおり可決

②古紙持ち去り問題について：今後、当組合員が持ち去り行為を行った場合について討議した。結果は、全原連に準ずる対応を基本にするが、東京協組の特殊事情を考慮し、さらに検討する。

古紙センター関東地区委員会

[平成25年7月22日（月）] pm 2:00～

於）古紙センター会議室

[需要動向] 13 / 8月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の () は在庫率

[関東商組 32 社実績]

[新聞]	仕入	59,889(93.9%)
	出荷	60,557(97.4%)
	在庫	8,766(14.5%)
[雑誌]	仕入	48,376(94.8%)
	出荷	48,070(94.7%)
	在庫	7,544(15.7%)
[段ボール]	仕入	122,728(93.8%)
	出荷	122,798(95.1%)
	在庫	11,660(9.5%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	197,235(102.3%)
	消費	207,378(100.0%)
	在庫	119,956(57.8%)
[雑誌]	入荷	99,519(95.9%)
	消費	108,352(102.9%)
	在庫	43,849(40.5%)
[段ボール]	入荷	315,614(117.0%)
	消費	266,534(101.6%)
	在庫	118,196(44.3%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

8月の発生は前年と比べ段ボールと雑誌が悪い。新聞は前年と比べチラシが減少している。仕入価格にスポット価格が出ている。輸出量は増加しており過去最高となる勢いである。

[上物古紙]

産業古紙の発生は年々減少している。家庭紙向けの古紙の発生は悪い。東京協組の上物古紙4社の在庫統計では、ここ1年間で過去最低の在庫状態となっている。家庭紙メーカーの原料在庫もどこもかなり少ない状況となっている。輸出価格は国内価格が上昇しても、まだ輸出価格との差が縮じまらない。

[メーカー側コメント]

新聞の7、8、9月の生産は低調。大手新聞紙メーカーは古紙の入荷状況に合わせ、新聞古紙を少な

くして配合調整をしてる。雑誌の生産も9月は低調。8月～9月の在庫ポジションは一進一退の状態。7月の段ボール古紙の各メーカー在庫は、きわめて落ち込んでいる。8月は消費から見ると少なかった。9月は消費が少なく減産メーカーもあった。

トラブル関係では異臭トラブルが増えている。

古紙センター業務委員会

[平成25年9月30日(月)] pm2:15～
於) 古紙センター会議室

- [1] 集団回収実施団体への感謝状交付について
(中部、近畿、中四国地区委員会推薦)
- [2] 古紙の需要・市況動向について
*ページ数の都合で割愛させていただきます。

全原連 平成25年度第4回 理事会報告

平成25年9月30日(月) 15:30～16:40
古紙再生促進センター
理事・監事64名：出席64名
(内、委任出席34名) 欠席0名

(1) 古紙再生促進センター 関係

- 業務委員会 (9月30日開催)
- ◎集団回収実施団体への感謝状交付について
 - ・推薦地区委員会：中部地区委員会、近畿地区委員会、中四国地区委員会
 - 推薦団体：13団(中部8、近畿3、中四国2)
- ◎全国小中学校“紙リサイクル”コンテスト2013について
 - ・作文小学生部門、作文中学生部門、ポスター小学生部門、ポスター中学生部門の4部門で募集し、厳正な審査の上、優秀な作品に賞を贈呈します。

・10月18日(金)を応募締切とし、11月15日(金)に学校関係者を中心に審査する。

- ・表彰式の実施日、実施場所
実施日：平成25年12月14日(土)
12時開始予定
実施場所：ホテルグランドパレス
(東京都千代田区)

◎今後の日程について

- 平成25年10月28日(月) 14:15～15:15
第6回業務委員会(センター会議室)
- 平成25年11月27日(水) 14:15～15:15
第7回業務委員会(センター会議室)

(2) 全原連 関係

◎審議事項

- ①第2回中日古紙セミナー及びBIRワルシャワ会議について
 - ・第2回中日古紙セミナー(中国/杭州地区)
日程：平成25年11月5日(火)～8日(金)
派遣人数：5名(内訳)栗原古紙センター副理事長、大久保全原連副理事長、藤川需給委員長、齊藤浩二東京協組理事、通訳1名
派遣者決定：理事会上程 承認
 - ・BIRワルシャワ会議
日程：平成25年10月27日(日)～29日(火)
派遣者決定：各地域組合からの推薦がないため派遣しない(理事会上程 承認)
来年度開催予定：総会(6/1～6/4)マイアミ(出席予定)、
秋季(10/26～10/28)パリ(欠席予定)
- ③紙商品化適格事業所及び古紙リサイクルアドバイザー認定申請について
(理事会上程 承認)
- ・リサイクルアドバイザー：8月15日
56社156名(累計441社2,286名)
- ・古紙商品化適格事業所：9月15日

2社2事業所（累計367社752事業所）

③段ボール古紙検取引き実態調査結果への対応について

- ・調査目的：メーカーに検取引きの透明化をお願いするため。

④「J-BRAND」表示ラベル普及に関する協力要請について

- ・古紙センター理事長名で各地区委員会あて「J-BRAND」表示ラベル統一への協力要請文を出す。（9月30日古紙センター常任理事会に諮り、承認を得る）

⑤原連ホームページへの広告申し込みについて

- ・平成25年度IT推進委員会リンク小委員会

開催日時：平成25年8月2日（金）

14:00～15:30

開催場所：全原連会議室、

会議要項：(株)明光商会よりホームページの広告ページ申し込み要請あり、審議し（年間10万円）。（理事会上程 承認）

現在広告ページ掲載は東芝情報機器(株)、

厚生年金基金、紙業タイムス社

(3) 各委員会報告

●経営革新委員会

- *古紙品質管理手順書（改訂版）について
- ・古紙再生促進センターの意見も参考に「古紙品質管理手順書」改訂版を作成し、全原連理事会の承認を得る。
- *「古紙商品化適格事業所」の「品質管理責任者」認定試験の実施について
- ・品質管理責任者認定試験の実施は平成25年4月～26年2月の間に行う。
- ・品質管理責任者認定試験用テキスト及ぶ問題集については各単組で必要部数を全原連事務局へ提出願います。

●需給委員会

- ・海外視察（インドネシア）10月理事会で詳細提示予定

●IT推進委員会

- ・東芝「製紙原料卸システム」の説明会を10月3～4日北海道地区で開催。

●渉外広報委員会

- ・「全原連紹介リーフレット」追加分については3,000部を作成する。

（折込用として英語翻訳版500部、中国語翻訳版500部を作成）

(4) 平成25年度 第2回経済産業省との懇談会について

日時：平成25年9月13日（金）

11:00～13:00

場所：全原連会議室

出席者：経済産業省 渡邊課長、川崎課長補佐、末永係長

全原連 栗原理事長、矢倉・石川・大久保・佐野・近藤各副理事長

藤川需給委員長、山室IT推進委員長
須長渉外広報委員長

概要：古紙持ち去り行為撲滅について

- ・各地域組合の取り組みを紹介し、意見交換を行う。
- ・地域組合の地域外に流れているケースについては関係地域組合が連携することを確認した。
- ・海外輸出ルート対策については経済産業省に協力を求めた。

10月度定例理事会

[平成25年10月3日（木）] pm5:00～

出席理事29名・監事0名 於）組合会議室

近藤理事長挨拶

本日はお忙しい中、10月役員会にご出席頂きまして有難うございます。先月の理事会の後、日曜日の早朝に2020年の東京オリンピック開催の発表がありまして、続いて2027年のリニアモーターの開業も発表され、何か日本中が明るいムードに変わったような気が致します。何としても紙の業界にも好影響が出てくる事を期待したいと思えます。

9月は第1回の直納部コンペがありましたが、生憎の悪天候で競技は中止となってしまいました。又、改めて開催されると思えますが、他にも直納部の海外研修会でウラジオストクへ出かけ国から委託を受けた大型の産廃処理施設を見学して参りました。又、月末には東資協との定期会合も開催されお互いの現状を確認しあう事ができました。現在当組合では共同購入事業の検討を進めておりました昨日も委員会が開催されました。組合員の利益になるような事業展開を進めております。又、持ち去り問題に対応できる規約を新名簿に載せる事になり検討しているところです。全原連関係では、各適格事業所に必要な品質管理者に対する更新試験をこれから各単組で実施して行きますので協組としても対応して行きたいと思えます。今月は星陵会館での古紙リサイクルセミナー、そして清風会のコンペがあります。これから年末に向けて各支部も何かとお忙しくなると思いますが、引き続きご協力を頂きます様宜しくお願い致します。

[各部報告]

[総務部]

組合会館2階のテナント募集は依然として進展がない。知り合いなどで希望者がいたら紹介して欲しい。

[直納部]

10月度の共販輸出は2社が入札に参加した。入

札の結果は、国内価格とほぼ同じ価格で国際紙パルプ商事(株)が落札した。仕向地は中国で、業者の報告では「中国の紙、板紙製品の需要は依然、低迷していますが輸出国における古紙の供給力が低下し、対中価格は上昇傾向にあります。ただ現在の古紙価格の上昇は製品需要が要因でないため大幅な価格上昇はないと思えます」との事。また他社のコメントでは「雑誌価格は上昇傾向が続いており天井感が未だ伺えず」との事。

関東商組の共販輸出では輸出価格が9月に比べ若干の上昇となっている。

国内全般の市況は、引続き国内の古紙が足りない状況にある。段ボールは2円上げたがスポット価格が出ている所がある。新聞、雑誌の古紙価格の修正は出ていない。原料関係者は苦勞している。古紙問屋の仕入価格は徐々に上昇している。

直納部の組織変更で段ボール委員長に(株)グリーン齋藤理事、新聞・雑誌委員長に(株)國光の朝倉理事が就任した。

直納部の海外研修「ロシア・ウラジオストク」を9月20日(金)～23日(月)に実施した。人口は約62万人の都市。

見学した産廃処理施設では、1日200トンのゴミを焼却している。生ゴミ以外は3機の韓国製ベラーで選別され紙、プラスチック、ペットボトル、缶等に分けられていた。古紙は全てミックス状になっており、品質が悪く変色していて汚い状態であった。

[集荷部]

発生は、8月～9月と引続き悪い状態が続いている。集荷としては厳しい。

[広報部]

先月末に広報9月号がお手元に届いたと思う。9月末に広報誌11月号の打合せのため広報委員会を開いた。

11月号の「時の視点」では丸紅ペーパーリサイ

クル(株)にお願いして市況を書いてもらう予定である。又、直納部正副部長による市況報告を三者三様に書いてもらい掲載予定である。「時の話題」では直納部で開催した海外研修ロシア「ウラジオストック」のレポートを掲載予定。その他の記事では文京支部主催のインドネシア海外研修のレポートを掲載予定である。

組合パンフレットの印刷原稿の最終チェックと配付方法について討議したい。1000部を印刷して当初は組合員全員に各2枚ずつの配付。その後、希望を取り要望に答えるが有料にするかは今後、検討する事とする。

組合総合名簿の進捗状況について：協賛広告に関しては70社(継続52社、新規18社)の協賛が得られた。名簿本来の組合員の住所確認や営業所の掲載確認、その他、理事、業務部、支部関係の情報についての確認を来週中に行う。確認後、印刷、製本に入り10月末に完成予定である。発送は広報11月号と共に11月10日頃に発送予定である。

[事業部]

共同購入について。プレス機のオイル交換について具体的に業者より価格の提示が出てきた。オイル交換を希望する組合員には、安価でオイル交換ができる業者を紹介する事が出来る。試験的に返本加工協同組合で10月に実施する事となった。又、集荷業務に必要な備品についても担当者を決め情報を調べる事になった。他に出張タイヤ交換についても調べる事となった。

[青年部]

10月23日に青年部主催の懇親ゴルフコンペを宇都宮の鶴カントリー倶楽部で開催する。

[近代化推進委員会]

経営革新委員会：9月17日に東京で委員会を開催した。内容は議事録参照。

IT推進委員会：10月3日に札幌で委員会を開

催中。

需給委員会：第2回日中セミナーを11月5日～8日に中国/杭州地区で開催する。

[その他]

協議事項

- ・古紙持ち去り問題について：「持ち去り行為をしない」旨の条文を東京協組の規約に載せる事になった。具体的な方法は後日、検討する。

古紙センター関東地区委員会

[平成25年10月24日(木)] pm2:00～
於)古紙センター会議室

[需要動向] 13/9月 単位トン、

()は対前年同月比、在庫の()は在庫率

[関東商組32社実績]

[新聞]	仕入	60,006(98.0%)
	出荷	59,321(97.4%)
	在庫	9,451(15.9%)
[雑誌]	仕入	47,887(98.5%)
	出荷	47,626(97.0%)
	在庫	7,805(16.4%)
[段ボール]	仕入	122,777(99.2%)
	出荷	121,529(96.7%)
	在庫	12,908(10.6%)

[関東・静岡実績]

[新聞]	入荷	183,207(95.3%)
	消費	190,503(97.8%)
	在庫	112,659(59.1%)
[雑誌]	入荷	99,573(88.0%)
	消費	109,940(98.5%)
	在庫	33,481(30.5%)
[段ボール]	入荷	299,325(108.3%)
	消費	308,859(108.3%)
	在庫	108,662(35.2%)

[業者側コメント]

[新聞・雑誌・段ボール]

9月の発生は前年と比べ3品とも減少している。特に段ボールの発生が良くない。在庫はぎりぎりの状態である。販売価格に関して変化はない。輸出に関してはミックスの内外格差が広がっている。

[上物古紙]

産業古紙の発生は依然として前年に比べると横ばいか減少している。オフィス古紙の発生も低調である。家庭紙は、各間屋の在庫が少なく定期納入に答えるのがやっとの状態で追加注文には対応できない状況である。44社の上物古紙在庫報告では引続き前年と比べ減している。家庭紙向け及びDIP向けの古紙の引合いが強くなってきている。

[メーカー側コメント]

新聞は夏以降、入荷が低調である。9月に入り一部メーカーが減産。10月は入荷量と同じ消費量となっている。雑誌も入荷は低調。

段ボールの生産は9月前半は低調で、後半から10月にかけて増加。ただ、昨年が悪かったため元に戻った状態ではないかと思われる。在庫は8月、9月に若干、増加したが、まだ適正レベルには達していない。

古紙センター業務委員会

[平成25年10月28日(月)] pm2:15～
於)古紙センター会議室

- [1] 日中古紙交流事業 第2回中日古紙セミナー(会議)について
- [2] 集団回収実施団体への感謝状交付について(東北、中・四国地区委員会推薦)
- [3] 平成25年10月～平成26年3月の段ボール・新聞・雑誌の消費計画について

[4] 古紙の需要・市況動向について

*ページ数の関係で割愛させていただきます。

表紙の言葉

9月に直納部主催の海外研修で行ったロシア・ウラジオストクの鷲巣展望台から見た黄金橋と中心街です。ウラジオストク中心部の金角湾を跨ぐ壮麗な橋。二つの主塔とケーブル線で支えられた斜張橋で、湾を跨ぐ部分は長さが737mあり斜張橋では世界でも十指に入るそうです。(海外研修報告本文より)

詳しくは海外研修報告をご覧ください。

広報誌 表紙写真募集の件**広 報 部**

皆様には日頃より組合活動にご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて広報誌の表紙は、従来、特定の組合員様のご協力で写真を提供して頂いて参りました。

しかしながら諸般の事情により、写真の利用ができなくなり、組合員の皆様から表紙を飾る写真を公募しております。

下記の要領で、奮って写真をご応募ください。お待ちしております。

募集要項**募集写真：白黒またはカラー写真****焼き付け または 添付ファイル****題 材：風景、季節、催事を扱ったもの****提出時期：随時****提出先：****〒110-0016 東京都台東区台東3-16-1****東京都製紙原料協同組合 事務局****E-mail：info@kosi-tokyo.or.jp**

編集後記

広報部部长 清水 弘允

記録的暑さが続いた夏もやっと終わり、朝晩には冷気を感じられる季節になりました。それでも大型台風が各地で災害を引き起こし、まだまだ油断は出来ません。秋の風情を楽しむ余裕もない内に早や11月となり、間もなく冬に突入しそうです。

皆さまの支部でも会社でも忘年会が話題になり、幹事を決め場所の段取りをするなど、そろそろ準備に入っているのではないのでしょうか。組合本部の新年会は1/18(土)に決まっています。予定に入れておいて下さい。お歳暮や年賀状の準備も、それほど先の事ではありません。

ところで組合事業として視察旅行が2件ありました。9月のロシアと10月のインドネシアです。今月号に報告が載っていますのでお読みください。

我々古紙業界にとって古紙輸出が本格化したのは10年くらい前からです。それまでは海外の古紙事情など関係有りませんでした。それが今では国内で回収された古紙の20%以上が海外に輸出されています。隔世の感があります。

古紙業界に従事している者として、今後も海外事情や為替に今まで以上に敏感でなければいけません。特に業界の若手には大いに期待したい所です。



組合総合名簿の協賛広告について

広報部

この度は、組合総合名簿の協賛広告にご協力いただき誠にありがとうございました。

広報誌では11月号より今後、2年間に渡り、今回ご協力頂きました企業・団体に対し1回のみ無料の広告掲載をさせていただきます。掲載の順番や掲載ページは、こちらの都合で行いますのであらかじめご了承ください。(広告を掲載した号の広報誌は、該当の企業・団体にお送りいたします)

今回は、日頃、組合事業にご協力を頂いております大同生命(生命保険関係)、(株)ウィル・プロモート(各種損害保険等)、都市近代化事業協同組合(ガソリンカード、ETC等)。子組合で日頃、お世話になっております東京返本加工協同組合の2社・2組合を掲載いたしました。

尚、有料での掲載も可能ですので、ご希望の際は組合までお申し出ください。料金等は下記のようになります。

<広告料金について>

広報誌は、1月号、3月号、6月号、9月号、11月号の年5回発行しております。

掲載と同じ2分の1ページの広告を掲載した場合
年1回の掲載：14,000円

年2回の掲載：26,000円(13,000円×2回)

年3回の掲載：36,000円(12,000円×3回)

年4回の掲載：44,000円(11,000円×4回)

年5回の掲載：50,000円(10,000円×5回)

掲載ページにつきましては広告数によりませんが、最終ページに近い順に掲載する予定です。

お申し込みは、東京都製紙原料協同組合

電話 03-3831-7980

FAX 03-3831-7880